

国際ビジネスコースの教育目標

グローバル化する経済社会にあって、経済活動と市場の仕組みや企業組織と経営などの基礎と応用を体系的に学び、法制や国際政治等の視点も加えて国内外のビジネス動向を的確に把握して、国際レベルでビジネスを主導していける人材の育成が目標である。

履修系統図 国際総合政策学科（国際ビジネスコース）

| | 1年次 | 2年次 | 3年次 | 4年次 |
|--------------------------|---|---|---|--|
| DP1 DP2 DP6 DP7 | 【基礎科目】 自主創造の基礎 1 → 自主創造の基礎 2 【専門基礎科目】 日本近現代史 ↔ 世界近現代史 【健康スポーツ科目】 スポーツ総合 → スポーツ科学と健康 | 【地域研究】 地域研究（アメリカⅠ） 地域研究（アメリカⅡ） 地域研究（ヨーロッパⅠ） 地域研究（ヨーロッパⅡ） 地域研究（ヨーロッパⅢ） 地域研究（アジアⅠ） 地域研究（アジアⅡ） 地域研究（アジアⅢ） 地域研究（中東） 地域研究（アフリカ） | 【ジャパンスタディーズ】 Japan Studies I (宗教・思想) ↔ 日本宗教思想 Japan Studies I (日本文学) ↔ 日本文学史 Japan Studies II (文化史) ↔ 日本文化 Japan Studies II (日本社会) ↔ 日本史 Japan Studies III (日本社会) ↔ 日本社会 Japan Studies IV (経済) ↔ 日本経済 Japan Studies V (政治) ↔ 日本政治 【スポーツ交流】 スポーツ科学 → スポーツと社会 スポーツ指導論 → レクリエーション論 地域研究（特別研究） | Japan Studies VII (スペシャルレクチャー) Japan Studies VII (スペシャルレクチャー) |

| | | |
|---------------------------------|--|--|
| DP1 DP3 DP4 DP5 DP8 | 【総合教育・情報科目】 哲学 ↔ 倫理学 芸術 ↔ 文化人類学 歴史学 ↔ 世界の宗教 文学 ↔ 世界の言語 政治学 ↔ 経営学 法学 ↔ 日本国憲法 ジェンダーと社会 ↔ 経済学 社会学 ↔ 調査統計論 心理学 ↔ 商学 生命の科学 ↔ 科学思想史 数理の世界 ↔ 情報論 情報処理Ⅰ ↔ 情報処理Ⅱ | ゼミナールⅠ → ゼミナールⅡ → ゼミナールⅢ → 卒業論文 ライフデザイン 【国際ビジネスコース科目群】 国際関係論Ⅰ（理論） <国際ビジネス> 経営学原論 → 組織論 → 経営法務 → 経営情報論 → 国際経営論 企業論 → ベンチャービジネス論 → マーケティング論 → 経営学特別研究 <国際経済> 現代経済社会 → 金融論 → 国際金融論 → 国際貿易論 → 流通経済学 経済学原論 → 国際経済学 → 証券市場論 → 都市経済学 ↓ 食品流通論 → 経済学特別研究 <財務> 簿記論 → 財務管理論 → 財政学 → 租税論 ↓ 会計学 <情報> 情報メディアリテラシー → ビジネス統計演習 → 情報システム理論と演習 → Webデザインと技術 → ビジネス・インテリジェンス 情報処理Ⅲ → プログラミング |
|---------------------------------|--|--|

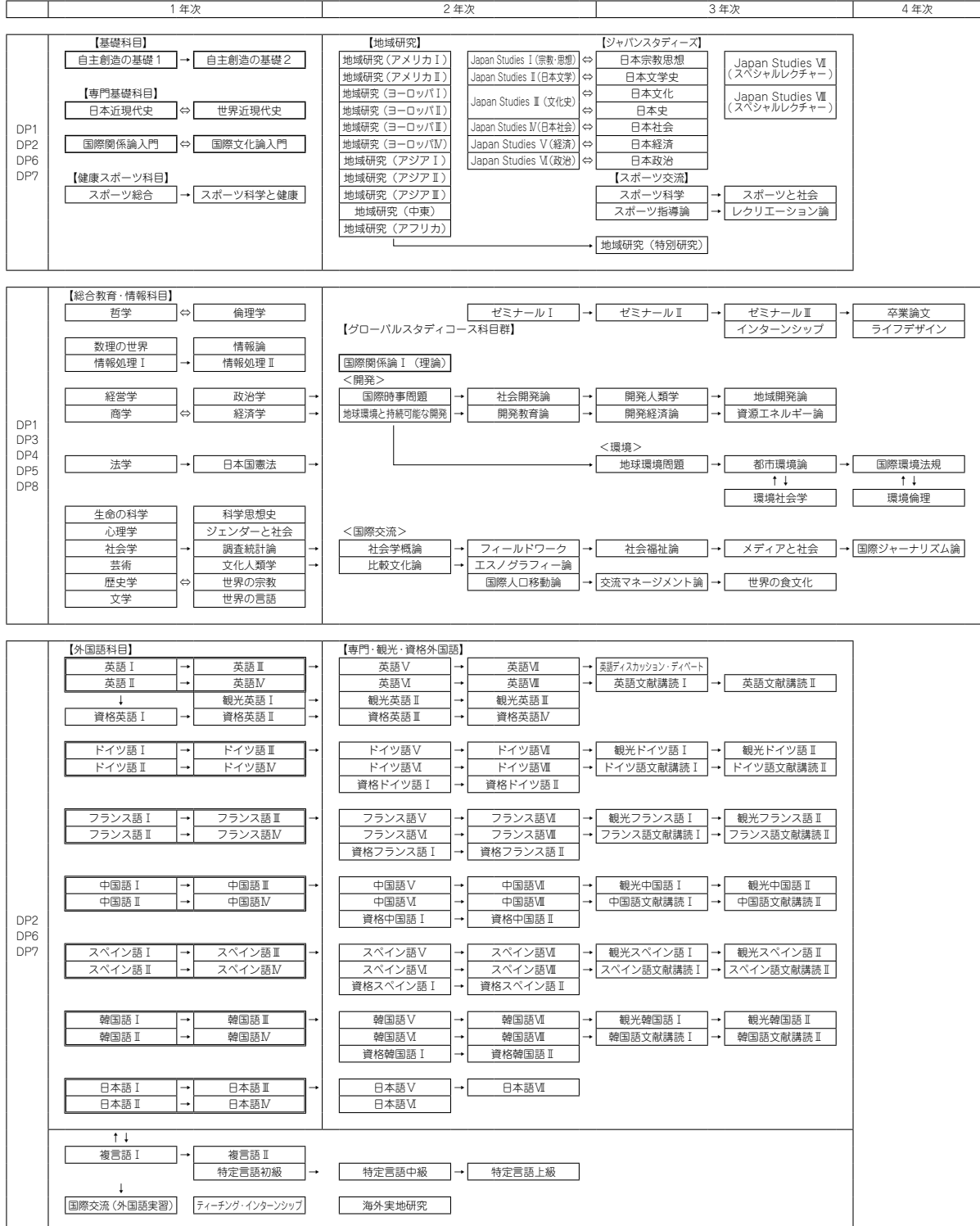
| | | |
|-------------------|--|--|
| DP2 DP6 DP7 | 【外国語科目】 英語Ⅰ → 英語Ⅱ → 英語Ⅲ → 英語Ⅳ ↓ 観光英語Ⅰ → 資格英語Ⅰ → 資格英語Ⅱ ドイツ語Ⅰ → ドイツ語Ⅱ → ドイツ語Ⅲ → ドイツ語Ⅳ ↓ 観光ドイツ語Ⅰ → 資格ドイツ語Ⅰ → 資格ドイツ語Ⅱ フランス語Ⅰ → フランス語Ⅱ → フランス語Ⅲ → フランス語Ⅳ ↓ 観光フランス語Ⅰ → 資格フランス語Ⅰ → 資格フランス語Ⅱ 中国語Ⅰ → 中国語Ⅱ → 中国語Ⅲ → 中国語Ⅳ ↓ 観光中国語Ⅰ → 資格中国語Ⅰ → 資格中国語Ⅱ スペイン語Ⅰ → スペイン語Ⅱ → スペイン語Ⅲ → スペイン語Ⅳ ↓ 観光スペイン語Ⅰ → 資格スペイン語Ⅰ → 資格スペイン語Ⅱ 韓国語Ⅰ → 韓国語Ⅱ → 韓国語Ⅲ → 韓国語Ⅳ ↓ 観光韓国語Ⅰ → 資格韓国語Ⅰ → 資格韓国語Ⅱ 日本語Ⅰ → 日本語Ⅱ → 日本語Ⅲ → 日本語Ⅳ ↓ 観光日本語Ⅰ → 資格日本語Ⅰ → 資格日本語Ⅱ | 【専門・観光・資格外国語】 英語Ⅴ → 英語Ⅵ → 英語Ⅶ → 英語ディスカッション・ディベート 英語Ⅷ → 英語文獻講読Ⅰ → 英語文獻講読Ⅱ 観光英語Ⅱ → 観光英語Ⅲ → 観光英語Ⅳ ドイツ語Ⅴ → ドイツ語Ⅵ → ドイツ語Ⅶ → 観光ドイツ語Ⅰ → 観光ドイツ語Ⅱ ドイツ語Ⅷ → ドイツ語Ⅷ → ドイツ語文獻講読Ⅰ → ドイツ語文獻講読Ⅱ 資格ドイツ語Ⅰ → 資格ドイツ語Ⅱ フランス語Ⅴ → フランス語Ⅵ → フランス語Ⅶ → 観光フランス語Ⅰ → 観光フランス語Ⅱ フランス語Ⅷ → フランス語Ⅷ → フランス語文獻講読Ⅰ → フランス語文獻講読Ⅱ 資格フランス語Ⅰ → 資格フランス語Ⅱ 中国語Ⅴ → 中国語Ⅵ → 中国語Ⅶ → 観光中国語Ⅰ → 観光中国語Ⅱ 中国語Ⅷ → 中国語Ⅷ → 中国語文獻講読Ⅰ → 中国語文獻講読Ⅱ 資格中国語Ⅰ → 資格中国語Ⅱ スペイン語Ⅴ → スペイン語Ⅵ → 観光スペイン語Ⅰ → 観光スペイン語Ⅱ スペイン語Ⅶ → スペイン語Ⅶ → スペイン語文獻講読Ⅰ → スペイン語文獻講読Ⅱ 資格スペイン語Ⅰ → 資格スペイン語Ⅱ 韓国語Ⅴ → 韓国語Ⅵ → 観光韓国語Ⅰ → 観光韓国語Ⅱ 韓国語Ⅶ → 韓国語Ⅶ → 韓国語文獻講読Ⅰ → 韓国語文獻講読Ⅱ 資格韓国語Ⅰ → 資格韓国語Ⅱ 日本語Ⅴ → 日本語Ⅵ |
| | 複言語Ⅰ → 複言語Ⅱ → 特定言語初級 → 特定言語中級 → 特定言語上級 ↓ 国際交流（外国語実習） → ティーチング・インターンシップ → 海外実地研究 | |

ディプロマ・ポリシー
 DP1：国際社会に適用する豊かな知識と幅広い教養力に基づき高い倫理観を高めることができる。
 DP2：国際関係・国際文化を理解し、専門分野における基本的な知識を身に付け、世界の現状を説明することができる。
 DP3：国際情勢を理解し、国際社会の各分野で活躍・貢献できる論理的かつ批判的な思考をすることができる。
 DP4：国際実務の現場で実務に即応した問題を発見し、解決策を提案することができる。
 DP5：国際社会の各分野において、あきらめない気持ちで新しいことに果敢に挑戦し、政策立案を提言し行動することができる。
 DP6：多様な価値観の享受と寛容性を養い、多文化共生・日本の特質を理解し、国際社会の中で積極的にコミュニケーションを実践し、自分の考えを伝えることができる。
 DP7：探究心を養い、外国語を理解し、発信することにより、国際社会において他者と連携を回り、協働者の力を引き出し、その活躍を支援することができる。
 DP8：自己を見つめ、学修を通じて、振り返りを行い、多様な国際社会の中で自己を向上させることができる。

グローバルスタディコースの教育目標

現代社会の環境問題・人口問題・食糧問題などの諸問題を考える基礎である社会科学の知識を習得し、地域・国・世界における諸問題を分析・考察し、問題解決に向け積極的に自らの役割を果たせる人材の育成が目標である。

履修系統図 国際総合政策学科（グローバルスタディコース）

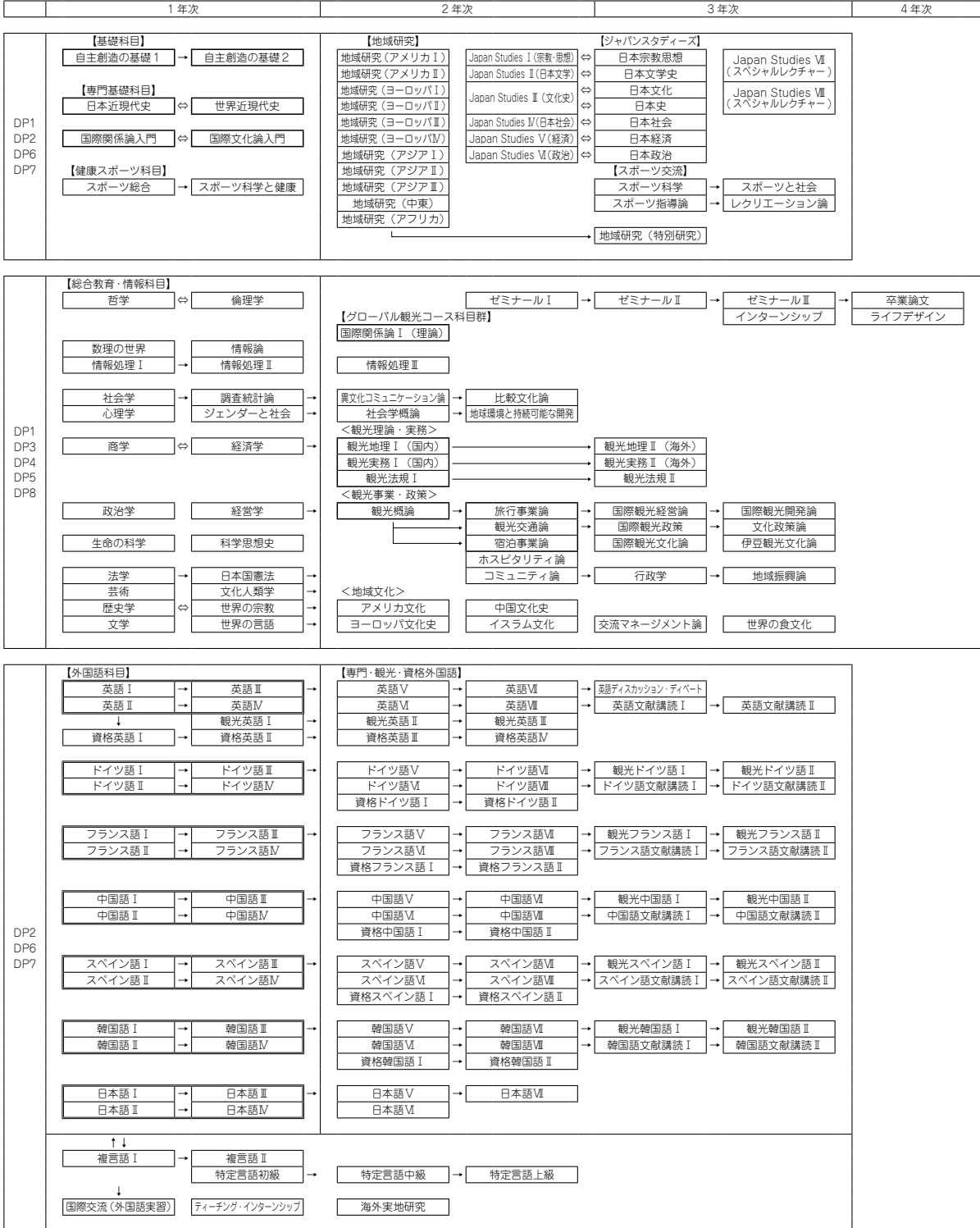


ディプロマ・ポリシー
 DP1：国際社会に適用する豊かな知識と幅広い教養力に基づき高い倫理観を高めることができる。
 DP2：国際関係・国際文化を理解し、専門分野における基本的な知識を身に付け、世界の現状を説明することができる。
 DP3：国際情勢を理解し、国際社会の各分野で活躍・貢献できる論理的かつ批判的な思考をすることができる。
 DP4：国際実務の現場で実務に即応した問題を発見し、解決策を提案することができる。
 DP5：国際社会の各分野において、あきらめない気持ちで新しいことに果敢に挑戦し、政策立案を提言し行動することができる。
 DP6：多様な価値観の享受と寛容性を養い、多文化共生・日本の特質を理解し、国際社会の中で積極的にコミュニケーションを実践し、自分の考えを伝えることができる。
 DP7：探究心を養い、外国語を理解し、発信することにより、国際社会において他者と連携を回り、協働者の力を引き出し、その活躍を支援することができる。
 DP8：自己を見つめ、学修を通じて、振り返りを行い、多様な国際社会の中で自己を向上させることができる。

グローバル観光コースの教育目標

21世紀における観光立国日本の実現を目指し、観光を通して異文化理解・国際交流を促進し相互の発展を図るため、観光政策・観光文化・観光経営・観光実務などの専門知識と技術を学び、国内外の観光旅行並びに観光産業の振興に寄与できる人材の育成が目標である。

履修系統図 国際総合政策学科（グローバル観光コース）



ディプロマ・ポリシー
 DP1: 国際社会に適用する豊かな知識と幅広い教養に基づく高い倫理観を高めることができる。
 DP2: 国際関係・国際文化を理解し、専門分野における基本的な知識を身に付け、世界の現状を説明することができる。
 DP3: 国際情勢を理解し、国際社会の各分野で活躍・貢献できる論理的かつ批判的な思考をすることができる。
 DP4: 国際実務の現場で実務に即応した問題を発見し、解決策を提案することができる。
 DP5: 国際社会の各分野において、あきらめない気持ちで新しいことに果敢に挑戦し、政策立案を提言し行動することができる。
 DP6: 多様な価値観の享受と寛容性を養い、多文化共生・日本の特質を理解し、国際社会の中で積極的にコミュニケーションを実践し、自分の考えを伝えることができる。
 DP7: 探究心を養い、外国語を理解し、発信することにより、国際社会において他者と連携を回り、協働者の力を引き出し、その活躍を支援することができる。
 DP8: 自己を見つめ、学修を通して、振り返りを行い、多様な国際社会の中で自己を向上させることができる。